

町公民館だより

編集 日野町公民館 〒689-5131 日野町黒坂1243番地1
電話：74-0212 FAX：74-0105
E-mail：kouminkan@town.hino.tottori.jp

一年を振り返り、健康への意識を高める

▼平成26年度おしどり学園閉講式



▲1年を振り返る山本学園長

3月25日、おしどり学園閉講式が、多くの来賓、学園生出席のもと、盛大に行われました。閉講式では、学園生に修了証を、年間を通して一度も欠席しなかった7名に皆勤賞が授与されました。

当日は、黒坂診療所10周年記念イベントが共催されており、閉講式終了後に、櫃田豊日野病院院長が「季節の健康管理」、鳥取大学地域医療学教授の谷口晋一さんが「鳥取大学地域医療総合教育研修センターの取り組み」と題し、講演を行いました。また、日野病院在宅介護支援

事業所師長の景山光恵さんが「訪問看護の現状と活動報告」と題して研究発表しました。

普段、気になる健康の話題とすることもあり、学園生だけでなく一般の来場者も熱心に耳を傾け、日野病院の日ごろの取り組みや地域医療について深く聞き入っている様子でした。

講演終了後は、来賓の皆さんと一緒に食事を開きました。平成26年度おしどり学園を振り返りながら、それぞれ学習の成果や思い出話に花を咲かせていました。そして、来年度もおしどり学園でより一層学習



▲季節に応じた健康管理上について説明する櫃田院長

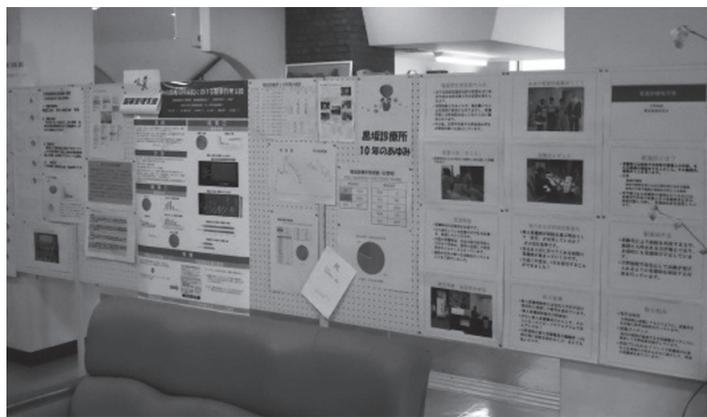
に励もうと誓い合っている様子も見られました。

午後からは、黒坂診療所10周年記念イベントの一環として、公民館ロビーや各部屋でリハビリ体操や健康相談が行われました。学園生や来場者は、普段気になっている自分の健康について、相談したり体操に参加したりと、充実した1日を過ごしました。



▶講演に熱心に耳を傾ける来場者

▶日野病院の日ごろの取り組みも紹介されました。



▶元氣いっぱい病院スタッフの皆さん

おしどり学園で 仲間・健康・生きがいづくり

▶平成 27 年度おしどり学園日程

今年度のおしどり学園を毎月第3金曜日の午前9時30分から午後0時30分まで開きます。

上半期(5月～9月)の予定は次のとおりです。どなたでも気軽に参加できますので、お誘い合わせてお出かけください。

期 日	内容(予定)
5月15日(金)	【自然】花作りについて
6月19日(金)	【健康】健康体操
7月17日(金)	【生活】生活安全について
8月21日(金)	【歴史】日野郡ゆかりの文豪
9月18日(金)	町外研修

※予定は変更になる場合があります。
詳しくは防災無線などでお知らせします。

毎月第3日曜日は「家庭の日」です

毎月第3日曜日は「家庭の日」です。

次のことを3つのポイントに家族時間を持ってみませんか。

★3つのポイント★

家族みんなで、

- ①話し合う
- ②楽しむ合う
- ③協力し合う

青少年による事件が多く報道されています。家庭でのコミュニケーションがきちんととれていれば、未然に防げていたものばかりではないでしょうか?取り返しがつかなくなる前に、地域や家庭で子どもたちのサインを読み取っていくことが大事です。

ふるさとのことば

～日野弁なんずかんず～ 第21回

「やくまら」「やくまら」

「やくまら」は、主に会合や葬儀などを取り仕切ることなどを指す方言で、例えば、「区長さんがいつさくまいしてごしなった」という風に使われます。

一方、「さくまう」は、「頼んでもいないのに出しゃばる、口を出す」という意味合いのほうが強いです。「あの者あさくまうけん好かん」、「またさくまいやがって」など、一転して嫌われ者に使われる言葉となってしまう、面白い方言です。

日野弁ピックアップ「さ」

さいぜん…先刻、さっき。
さかし…逆さ。
さでくる…転ぶ。ずり落ちる。
ざまくな…荒い。丁寧でない。
さんせえ…しなさい。「早うさんせえ」

協力：日野町歴史民俗資料館友の会

若者向け住宅の入居者を募集します

所在地 日野町根雨143番地1

構造・間取り 木造2階建、1棟4戸(集合住宅)、1K

募集戸数 2戸

設備 オール電化(温水器、台所)、水洗トイレ、ペアガラス

月額家賃 月額28,000円(駐車場1台分含む)

入居資格 町外からの転入希望者 など

申込期限 4月30日(木)

※入居開始時期、申し込み方法など、詳しくは次へお問い合わせください。

申込みおよび問合せ先 役場産業振興課(電話72-2101)

